

## 平成26年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	佐賀県立白石高等学校		
2 所在地	杵島郡白石町大字今泉138番地1		
3 校長名	蒲原 正憲		
4 学級数 児童生徒数	12学級 473人	5 実施学年 児童生徒数	1年（全）及び 3年（選択授業） 173人

### 6 取組のねらい

UDとは福祉のための働きかけやすべての人が使いやすいものを目指すためだけのものではなく、それらを含んだ、よりよく生きるための考え方ということを学ぶ。普段の生活の中でUDを意識させるために、UD探しをしたり、UDオリジナルデザインを考えたりと研究を進展させ、さらにそれを、家庭や地域で広めたいということで取り組ませた。

### 7 取組の実際

- ①佐賀県政出前講座「ユニバーサルデザインって何？」を受講し理解を深めた。
- ②UDを探そうというテーマを設定し生活の中でUDを見つけることで、新たな課題を発見した。調査・研究した内容は学習者用PCに各自保存し、グループで発表することでより理解が深まった。
- ③文化祭のバザー売上金を白石町のUD充実の取り組み基金として使っていただくことにした。今年度、役場にベビーチェアを導入していただいた。来年度も継続活動したい。
- ④佐賀県UDキャラクターを広めたいと考え、UD紙芝居を製作し、近くの保育園で紙芝居の上演を行った。
- ⑤UD商品を考えてみようという課題への取組でユニバーサルデザインコンクールに応募した。
- ⑥UD研究発表会を行い、クラスでまとめた取り組みを他のクラスにも伝えることができた。また、3年生19名で取り組んだUD紙芝居を1年生へ見てもらうことで、来年度の活動につなげた。



白石町立六角保育園にて



UD研究発表会

### 8 取組の成果と課題

自分達の町や学校にもユニバーサルデザインがあることを再認識したことはもちろんだが、地域への貢献、まわりへの啓発をどのようにすれば、よりよい生活をおくることができるかを考える機会となった。今後は総合的な学習の時間等を利用することでさらによりよい取組ができるのではないかと考える。とくに、紙芝居活動は継続して行っていきたい。